様式50の５の３

処理骨再建加算の施設基準に係る届出書添付書類

|  |
| --- |
| １　標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）科　　 |
| ２　整形外科について５年以上の経験を有する常勤の医師の氏名等 |
| 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 整形外科の経験年数 |
|  | 時間 | 年　 |
|  | 時間 | 年　 |
|  | 時間 | 年　 |
| ３　骨・軟部腫瘍手術を術者として50例（このうち10例は骨・軟部悪性腫瘍手術であること）以上実施した経験を有する常勤の整形外科の医師の氏名等 |
| 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 骨・軟部腫瘍手術の経験症例数 | 骨・軟部悪性腫瘍手術の経験症例数 |
|  | 時間 | 例 | 例 |
|  | 時間 | 例 | 例 |
|  | 時間 | 例 | 例 |
| ４　処理骨の作製に当たり、備えている設備や機器等 |
| （１）処理骨の作製法（該当するものに○を付けること。） | 冷却（液体窒素）処理・加温処理・放射線処理 |
| （２）（１）の作製法に当たり、備えている設備や機器等（名称等を記入すること。） |  |
| ５　緊急手術が可能な体制　　　　　　　　　（ 有 ・ 無 ） |

［記載上の注意］

１　「２」及び「３」は、当該手術症例の一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。なお、「２」と「３」に掲げる医師が同一の者であっても差し支えない。

２　「２」及び「３」の整形外科を担当する常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記載すること。

３　「４」は、当該保険医療機関において主に行われる作製法と、当該作製法に必要な設備や機器等について記入すること。なお、この際、日本整形外科学会から示された指針や手順等を遵守し、必要な設備や機器等を備えていること。

４　当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。